



## City & County of San Francisco Branch Library Improvement Program

### Western Addition 分館、改築工事 よく寄せられる質問 (FAQ)

**Q. 分館の改築工事は、どんな計画になっていますか。**

A. 改築の重要な点として、耐震安全対策、障害者の方のためのアクセス機能、そして技術向上が含まれています。館内の公共スペースおよび従業員エリアは、より機能的になります。図書館の小規模な拡張が、障害者の方のためのアクセスや耐震政策、建物自体のシステムの向上に新しく必要となるスペースに埋め合わせとして使われる予定です。

**Q. 改装後の分館の利点としてはどんなものがありますか。**

- 建物の前面側（ゲーリー通り側）および入り口付近のスペースの拡大
- 地震に備えた強度
- 障害者用の新しいお手洗い
- 青少年専用スペース
- 自動ドア付き新しい魅力的な玄関入口
- 児童プログラムやお話タイムなどに対応可能な空間のある児童エリア
- より良い照明
- 新しい家具、棚、図書関連書物ディスプレイ
- 大人用の静かな読書エリア
- 多目的の部屋（放課後の宿題、少人数のミーティングや他のプログラム）
- よりわかりやすくなった案内表記
- インターネットおよび図書館オンライン情報資源にアクセスできるコンピューターの台数増加
- 自動貸し出し機（セルフチェックアウトマシーン）
- 心地良い椅子やいくつかの種類の椅子
- 近代的技術が利用でき、将来に向け柔軟性のあるインフラ整備
- 便利な時間外の図書返却口
- インターネットへのワイヤレス (Wi-Fi) アクセス
- より機能的なスタッフ用の作業スペース
- 暖房、空調設備の改善

**Q. 分館は、いつ閉館しますか、また閉館期間はどのくらいですか。**

A. 分館は、2006年8月19日工事のために閉館し、2008年春に開館の予定ですが、企画の問題、設計、入札、契約、手続き許可等から発生する諸問題、またはその他の問題により閉館時期が遅れる可能性があります。改築工事中は、近隣の図書館の開館時間を延長、Parents Place (2150 Post at Scott) での児童向けお話タイムの開催、ポスト通りとスタイナー通りの角に移動図書館を設けるなどの図書館サービスを行います。またウェスタンアディクションリーディングセンターも 762 Fulton Street にオープンします。日本語コレクションの一部はプレジディオ分館へ一時的に移動します。

**Q. どの業者が改築を請け負いますか。**

A. 建築ライブラリデザインスタジオ局 (Bureau of Architecture's Library Design Studio)、公共事業部 (Department of Public Works)、そしてサンフランシスコ市 (City & County of San Francisco) です。

**Q. 改築後は図書は増えるのですか。**

A. 図書関連物 (図書、CD、DVD、ビデオ、テープ本) のスペースは以前と同じです。けれども書物は、新しく配置された棚によって以前に比べてかなり見つけ易くなります。障害者のためのアクセス、システム向上、そして機能性の改善等に必要となるスペースには小さな拡張部分が使われることとなります。

**Q. 既存の家具はどうなりますか。**

A. ほとんどの家具は交換されます。図書館では、インテリアデザインのガイドラインを作成しました。これは、建築家たちやスタッフが適切な家具を選ぶために役立つものです。機能性、人間工学性、耐久性、管理性、柔軟性、持続可能性を基本にしています。もちろん、建築上の期間も考慮しています。

**Q. 設計の過程にコミュニティは参加していますか。**

A. 参加しています。2004年春に分館の図書関連物、設備、サービスについてアンケート調査が実施されました。コミュニティの集会は、分館において、2004年の5月と6月に開かれ、設計アイデアを請い、原案を説明し、アンケート調査結果を討論しました。図書館委員会は、公共のピアレビューを2004年9月に実施しました。独立した建築家たちやインテリアデザイナーがこの企画を再検討しました。

**Q. 分館の改装工事のための費用はどこから捻出されるのですか。**

A. 2000年11月にサンフランシスコ図書館の分館システムを改築するために、1億600万ドルのボンド要請を有権者たちは圧倒的多数で勝ち取りました。このボンドの重要な点としては、耐震性強化、必要な最新技術の導入、アメリカ障害者法 (ADA) に基づき現存の規約要件に応じること、そして既存のサービスに機敏に対応するためのスペースを供給する、さらに将来的なニーズに充分に対応できるような柔軟性を持つこと、です。ボンドが費用の重要な部分を支払いますが、家具や備品には支払われません。こういった費用を賄うために、The Friends of the San Francisco Public Library では寄付で1600百万ドルを集める予定です。このフレンズキャンペーンにご興味のある方は、(415) 626-7512 内線 101 にお電話いただけますようお願いいたします。

**Q. Western Addition 分館での改築工事費用はいくらぐらいですか。**

A. このプロジェクトは、現存する建物の改築するために、430万ドルの建築予算を見積もっています。この予算には家具や備品などの費用は含まれていません。限られた予算内で行われるために、全設計は予測なしに変更する場合があります。

**Q. 分館改築工事に関する詳細はどこで手に入りますか。**

A. The Branch Library Improvement Program にご連絡ください。電話番号は、(415) 557-4354 です。または、ウェブサイト [www.sfpl.org](http://www.sfpl.org) でもご覧になれます。電子メールは、[BLIP@sfpl.org](mailto:BLIP@sfpl.org) です。